

スウェーデン研修

4単位

担当教員: 訓覇 法子

事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによって、スウェーデン福祉国家を考察する

講義目的・到達目標

科目の概要

現代社会の変容に伴って人々が遭遇する社会的事故は多様化し、生活の安全が脅かされる。私たちの生活の根幹に関わる政策が、貧困縮小や生活の安全・向上を目的とする社会政策である。社会政策を国際的視点から見ると、選別的最低限保障を基礎とする日本の社会保障制度と異なり、スウェーデンは普遍的スタンダード保障を原則とする数少ない国のひとつである。福祉国家とは何か？特に、教育、労働、家族という基本的な生活ニーズの充足という観点から、スウェーデン社会はどのように構築され、どのように機能するのか？事前学習と現地での見学ならびに見学を深めるセミナーによってスウェーデン福祉国家を考察する。同時に、スウェーデン福祉国家の生活安全保障制度を基軸として、日本の生活安全保障制度の特質とその限界性を批判的に検証する。

学習目標

- ①現代社会政策に関する基本的な知識を国際的視点から修得する。
- ②スウェーデンと日本の比較を通して、国際比較手法に必要な知識を修得する。
- ③見学や現地の人々との交流によって、スウェーデンの生活習慣や政治文化などを学ぶ。

講義の構成

講義の流れ

基本的に、午前中に高齢者、障害者、児童分野の社会サービス現場を中心に視察を行い、午後は国際比較手法によって視察内容を考察する。視察が難しい分野や視察に必要な背景知識の習得のために、エンゲルホルム・コミュニティ(市町村に相当する)の社会局の行政職員による講義(社会サービス法、機能障害者サービス支援法、ニーズ査定など)を導入する。宿泊先は、障害者のリハビリテーションや休養のために環境整備がなされた宿泊施設であるため、館内での見学や障害者との交流も研修プログラムに含まれる。最後に首都ストックホルムで市内見学をし、街や人々の様子を自由に観察するための自由学習・散策の時間をとる。

研修日程(例) 8日間(機中1泊を含む)

1日目: 中部国際 / 成田出発 → ヘルシンキ → コペンハーゲン着 → エンゲルホルム移動(ソマルソル泊)

2~5日目: エンゲルホルムおよび近郊地域視察、講義とグループ討議(各日ソマルソル泊)

6日目: エンゲルホルム出発 → スtockホルム着
ストックホルム市内見学
(ストックホルム泊)

7日目: スtockホルム出発 → ヘルシンキ(機内泊)

8日目: 中部国際 / 成田着

講義のポイント

単なる良い、悪い、メリット、デメリットの発見ではなく、実際に現場を見ることによって、日本で得た自らの知識の反芻と批判的検証を行い、国際比較手法を深める。それには、一方通行的な講義形態では難しいために、小グループを形成し、視察内容を考察し、理解する方法をとる。スウェーデンを学ぶことによって、日本の社会福祉制度の特徴を理解することも重要な研修の目的である。どの制度も、自然発生的に構築されたものではなく、何ゆえにスウェーデンがスウェーデンの方法をとり、何ゆえに日本が日本のやり方をするのかを考察する。旅は、日本社会や日常の労働や生活に距離を持つことのできる機会を与えてくれるため、自らの人生を振り返る機会でもある。



受講するにあたって

- ①履修要件
- ①担当教員のスクーリング科目のうち、下記の科目を1科目以上履修、あるいは単位修得していること。
「レポート・研究入門」「障害者政策と自立支援」「社会福祉政策国際比較」「ソーシャルワーク国際比較」「認知症ケアと自我心理学」「スーパービジョンの理論と実践」
 - ②課題図書として指定された本、教科書等を読了すること。
課題図書（『福祉社会システム論（日本福祉大学）』もしくは『アプローチとしての福祉社会システム論（法律文化社）』）
詳細については、次年度に発表される募集要項を確認すること。
※募集要綱については【nfu.jp】の【リンク】-【通信教育部 スウェーデン研修】より参照可能。
- ②選考課題
- スウェーデン研修の履修には、事前選考を設けている。次年度に発表される募集要項に従い、期日までの提出をもってスウェーデン研修の履修に応募したとみなす。（2014年度実績 小論文「スウェーデンに行きたい理由と研修中の自己課題」をA4用紙1枚で論述）
- ③評価基準
- 現地研修・事後報告を兼ねたレポート提出により成績（A、B、CあるいはD）を判定する。
※評価基準はA、B、Cを合格、Dを不合格
- ④募集定員
- 25名程度
※一般参加の方と共同で開催する場合もある。



科目担当教員

訓覇 法子
教授

【研究分野】 社会政策、社会福祉学（比較福祉論） 【キーワード】 社会政策、ケアシステム、ライフ・コース、高齢者ケア 【主な研究テーマ】 10年間の時系列データに基づく高齢者ケアのサービス・コストに関する日瑞比較研究



受講上の諸注意

- ①スウェーデン研修
選考応募にあたって
- 下記のスクーリング会場にて科目オリエンテーションを行います。希望者は参加してください。オリエンテーションへの参加予約は必要ありません。あわせて開催される訓覇教授のスクーリング履修を推奨します。
「レポート・研究入門」「障害者政策と自立支援」「社会福祉政策国際比較」「ソーシャルワーク国際比較」「認知症ケアと自我心理学」「スーパービジョンの理論と実践」。
スクーリング会場以外にも、オリエンテーション会場を設けます。詳細は募集要項を確認してください。
※募集要綱については【nfu.jp】の【リンク】-【通信教育部 スウェーデン研修】より参照可能です。
- ②履修者事前
説明会
- 12月上旬～中旬にかけて、東京、大阪、名古屋の3会場で履修者（課題選考合格者）を対象とし、説明会を行います。「研修のしおり」の配付、研修行程、渡航手続の説明を行います。出来る限り参加して下さい。
- ③費用等について
- 費用につきましては、下記の二つが必要になります。
- ①授業料 21,600円
選考結果発表後、履修登録を行い12月ごろに学費引き落とし（21,600円）となります。
 - ②研修費用 35～40万円程度
（渡航費、宿泊費、食事代、燃油サーチャージ、旅行傷害保険含む）
参加者数、航空運賃改訂等の事情により、費用確定は12月頃になります。
宿泊は1室2名宿泊が基本です。希望者は個室も選択可能（別途費用必要）です。
- ④その他
- ※渡航前に、配付資料を読み返す等、スクーリングで学んだことの復習を必ず行ってください。
 - ※渡航経験、語学力等は問いません。ただし、英語での挨拶、自己紹介ができる程度の準備はしてください。
 - ※渡航時は「成田空港」「中部国際空港」のいずれかの選択となります。
 - ※現地集合や個人手配による航空利用はできません。